

3 男女が自立し安心して暮らせるまちづくり			
対象事業	現状・課題	理想像	意見
・事業番号41 ひとり親家庭への経済的支援／ひとり親家庭への自立支援	・自立支援員による相談・指導を行っているほか、ひとり親家庭の母親を対象に高等職業訓練費の支給を行い、就業に結びつきやすい資格の取得を支援している。	・より多くの方が自立した生活を送れるように支援を充実する。	・自立支援員による相談件数が多いが、実際に経済的支援を受けている人は少ない。
・事業番号43 シルバー人材センター事業の支援・拡大	・会員数は増加しているが、受託件数は減少している。	・様々な専門性を持つ高齢者の方に積極的に活躍してもらおう。	・専門業者と比べると、作業に時間がかかると思われていることも受託件数が減少している要因ではないか。
・事業番号44 食や運動に関する教室の開催 ・事業番号45 高齢者教室の開催	・平日に開催されていることが多く、同じ顔ぶれの参加者が多い。	・幅広い人が積極的に教室に参加し、教室を通して参加者同士で交流を深める。	・教室は平日に開催されることが多いが、日曜日にも開催をしたら、より幅広い人たちが参加できるのではないか。 ・地域社会の人同士で交流する機会が減っているため、地域の人たちに教室に積極的に参加してもらい、交流する機会を増やすことが必要である。
・事業番号53 乳がんや子宮がん等の各種検診／健康マイレージ制度による健康づくりの推進／更年期等に関する情報提供及び相談	・市では、対象となる方に通知文書を出すなどしているが、国のがん検診受診率の目標には達していない。	・多くの方が検診を受診する。	・市民の意識を変えることが必要だが何かきっかけがないと難しい。粘り強く周知を続けていくしかない。